月 例 統 計 報 告 (令和7年1月)

令和7年2月7日 企 画 振 興 部

1 秋田県の人口(秋田県の人口と世帯(月報)(令和7年1月1日現在))		1
本県の総人口は、892,390人(男 422,176人 女 470,214人)		
前月に比べ、 1,518人 (0.17%) 減少		
自然増減 1,303人 の減少(出生者 261人 死亡者 1,564人)		
社会増減 215人 の減少(県内への転入者 584人 県外への転出者 799人)		
この1年間では、17,111人(1.88%)の減少		
2 秋田県経済の動き (4) 制体器の生き製力(全工業生本指数日報(今年6月11日ハ))		0
(1) 製造業の生産動向(鉱工業生産指数月報(令和6年11月分))		2
秋田県鉱工業生産指数(平成27年=100)		
季節調整済指数 90.9 : 前月比 4.2%低下(2か月ぶりの低下) 原指数 99.1 : 前年同月比 3.9%上昇		
原指数 99.1 : 前年同月比 3.9%上昇 全国の鉱工業生産指数(令和2年=100)		
(〒和2年-100) 季節調整済指数 101.8 : 前月比 2.2%低下		
于即更得旧数 101.0 . 时月12. 2.270以上		
(2) 雇用·労働情勢 (毎月勤労統計調査地方調査結果速報(令和6年11月分))		3
賃金、労働時間及び雇用の動き 〔事業所規模5人以上〕 対前年比(前月比)は指数により算出		
現金給与総額 258,793円 : 前月比 7.0%増、前年同月比 4.3%増		
総実労働時間 144.3時間 : 前月比 1.1%減、前年同月比 1.3%減		
常用雇用指数 98.7 (令和2年=100)		
: 前月比 0.3%減、前年同月比 0.6%増		
(3) 物価動向(消費者物価指数(令和6年12月分))		4
秋田市消費者物価指数 112.9 (2020年=100)		
前月比0.9%上昇、前年同月比 3.5%上昇		
全国の消費者物価指数 110.7 (2020年=100)		
前月比(季節調整値) 0.6%上昇、前年同月比 3.6%上昇		
(4) 景気動向(秋田県景気動向指数(令和6年11月分)		5
先行指数 104.1 前月を1.8ポ イント下回り、2か月ぶりに下降		
一致指数 76.3 前月を2.8ポイント下回り、4か月ぶりに下降		
遅行指数 95.9 前月を0,9ポイント下回り、2か月ぶりに下降		
3 景況ダイジェスト(県内・東北・全国)	(ô∼7

- 1 秋田県の人口(「秋田県の人口と世帯(月報) (令和7年1月1日現在)」)
 - (1) 令和7年1月1日現在 の本県の総人口は 892,390人(男 422,176人 女 470,214人) となり、前月に比べ 1,518人(0.17%)の減少となった。

自然増減 1,303人 の減少(出生者 261人 死亡者 1,564人)

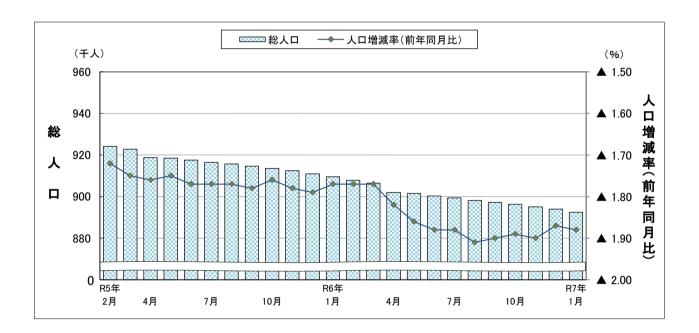
社会増減 215人 の減少(県内への転入者 584人 県外への転出者 799人)

(2) この1年間では、17,111人(1.88%)の減少となった。

自然増減 14,103人 の減少(出生者 3,309人 死亡者 17,412人)

社会増減 3,008人 の減少(県内への転入者 11,640人 県外への転出者 14,648人)

(3) 世帯数は 383,377世帯 となり、前月に比べ 444世帯 の減少となった。



〇自然増減と社会増減の推移

		自然増	減		社 会 増	減	人口増減
年 月	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	=自然増減
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	+社会増減
2023年12月	294	1, 531	▲ 1, 237	581	831	▲ 250	▲ 1, 487
2024年 1月	292	1, 718	▲ 1, 426	569	797	▲ 228	▲ 1,654
2月	249	1, 490	▲ 1, 241	706	871	▲ 165	▲ 1, 406
3月	271	1, 543	▲ 1, 272	1, 923	5, 032	▲ 3, 109	▲ 4, 381
4月	302	1, 577	▲ 1, 275	2, 325	1, 663	662	▲ 613
5月	292	1, 444	▲ 1, 152	842	839	3	▲ 1, 149
6月	211	1, 183	▲ 972	707	719	▲ 12	▲ 984
7月	323	1, 283	▲ 960	918	1, 075	▲ 157	▲ 1, 117
8月	286	1, 332	▲ 1, 046	913	778	135	▲ 911
9月	287	1, 340	▲ 1, 053	771	779	A 8	▲ 1,061
10月	291	1, 461	▲ 1, 170	748	717	31	▲ 1, 139
11月	244	1, 477	▲ 1, 233	634	579	55	▲ 1, 178
12月	261	1, 564	▲ 1, 303	584	799	▲ 215	▲ 1,518
直近1年間の累計 (2024.1~2024.12)	3, 309	17, 412	▲ 14, 103	11, 640	14, 648	▲ 3,008	▲ 17, 111

(参考)

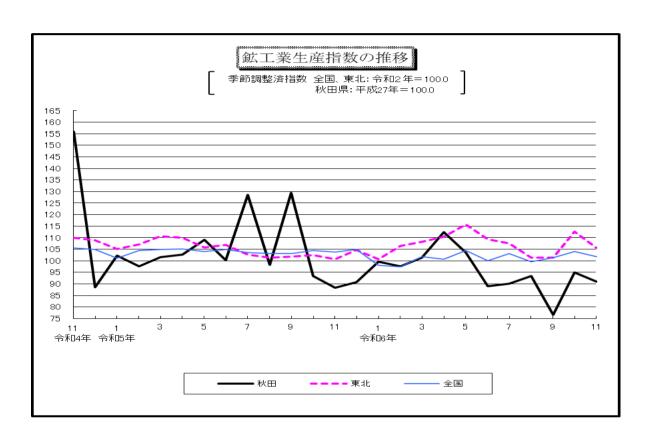
2023.1~2023.12の累計	3, 629	17, 542	▲ 13, 913	12, 239	14, 758	▲ 2, 519	▲ 16, 432
-------------------	--------	---------	------------------	---------	---------	-----------------	------------------

2 秋田県経済の動き

(1)製造業の生産動向(「秋田県鉱工業生産指数月報(令和6年11月分)」)

令和6年11月の秋田県鉱工業生産指数は、季節調整済指数が90.9(前月比4.2%減)となり、2か月ぶりに低下した。また、原指数は99.1となり、前年同月と比べ3.9%の上昇となった。

なお、全国の季節調整済指数は101.8となり、前月比で2.2%の低下となった。また、東北は105.5となり、前月比で6.3%の低下となった。



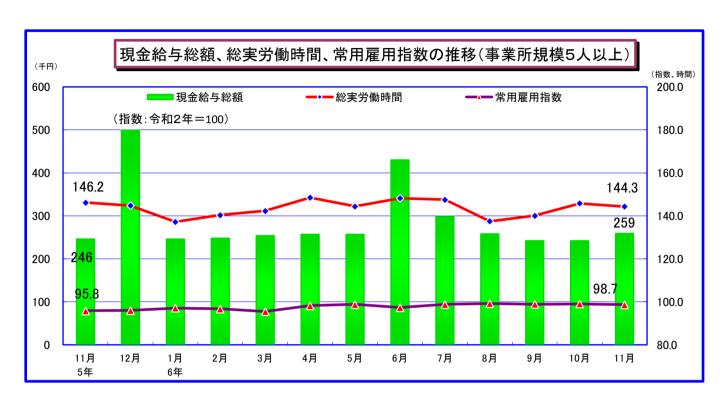
〇主な増減要因(季節調整済指数 平成27年=100.0)

業種名	指数値	前月比(%)	主な品目名						
□上昇した主な業種									
食料品工業	170.9	12.5	冷凍調理食品						
その他工業	77.3	7.7	普通合板						
汎用·業務用機械工業	134.9	3.5	光学レンズ						
□低下した主な業種									
電子部品・デバイス工業	84.1	▲ 7.9	液晶素子						
生産用機械工業	131.4	▲ 15.6	その他の特殊産業用機械						
金属製品工業	62.8	▲ 25.5	配管工事用附属品						

※影響度の大きい順に並べたものである。

(2) 雇用·労働情勢(「毎月勤労統計調査地方調査結果速報(令和6年11月分)」) (※賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比(前月比)は指数により算出)

令和6年11月の現金給与総額は258,793円となり、前月比で7.0%の増、前年同月と比べ4.3%の増となった。 総実労働時間数は144.3時間となり、前月比で1.1%の減、前年同月と比べ1.3%の減となった。 常用雇用指数は98.7となり、前月比で0.3%の減、前年同月と比べ0.6%の増となった。



〇産業別動向(事業所規模 5人以上)

1 現金給与総額

金額(円)	前年比(%)
339,415	24.8
315,867	18.0
274,947	9.1
金額(円)	前年比(%)
120,474	▲ 36.8
295,848	▲ 9.2
295,310	▲ 7.9
	339,415 315,867 274,947 金額(円) 120,474 295,848

3 常用雇用指数

増加した産業(上位3つ)	指数	前年比(%)
宿泊業、飲食サービス業	102.2	27.4
学術研究、専門・技術サービス業	114.0	1.9
生活関連サービス業、娯楽業	95.2	1.4
減少した産業(上位3つ)	指数	前年比(%)
情報通信業	79.5	▲ 18.3
A = 1 -11		A 4.0
金融業,保険業	86.3	▲ 4.9

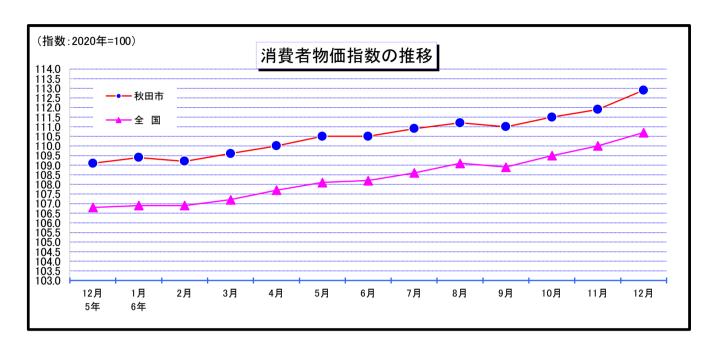
2 総実労働時間

増加した産業(上位3つ)	時間	前年比(%)
教育, 学習支援業	137.7	11.2
製造業	164.8	1.8
医療,福祉	144.7	0.5
減少した産業(上位3つ)	時間	前年比(%)
生活関連サービス業, 娯楽業	99.9	▲ 21.2
運輸業, 郵便業	175.5	▲ 9.7
宿泊業、飲食サービス業	91.9	▲ 5.8

(3) 物価動向(「消費者物価指数(令和6年12月分)」)

令和6年12月の秋田市消費者物価指数は112.9(2020年=100)となり、前月比で0.9%の上昇、前年同月比で3.5%の上昇となった。

なお、全国の消費者物価指数は110.7となり、前月比(季節調整値)で0.6%の上昇、前年同月比で3.6%の上昇となった。



10大費目指数の動き(2020年=100):秋田市

	10八頁口 旧															
	総合				食 料			住 居	光 熱·水 道	家 具・ 家事用品	被服及び 履物	保健医療	交 通 · 通 信	教 育	教養娯楽	諸雑費
			びエネルギー を	食料 (酒類を 除く) 及 びエ ネルギーを 除 く 総 合		生鮮食品	生鮮食品 を除く 食料									
当月指数	112.9	111.5	109.8	105.6	124.9	138.7	121.8	106.9	121.7	123.9	113.3	104.0	97.9	99.6	114.3	106.2
前月比(%)	0.9	0.5	0.1	▲ 0.1	1.9	7.0	0.6	0.0	3.9	▲ 1.6	▲ 0.5	0.1	0.4	0.0	▲ 0.3	0.3
前年同月比(%)	3.5	3.0	2.3	1.2	6.5	13.0	5.0	0.5	9.7	4.8	1.9	1.4	0.2	▲ 0.2	2.4	1.0

総合指数の前年同月比に寄与した主な内訳

[上昇]

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
食 料	野菜•海藻	15.8	0.58
光 熱・水 道	電気代	16.4	0.63
教 養 娯 楽	教養娯楽サービス	3.3	0.17

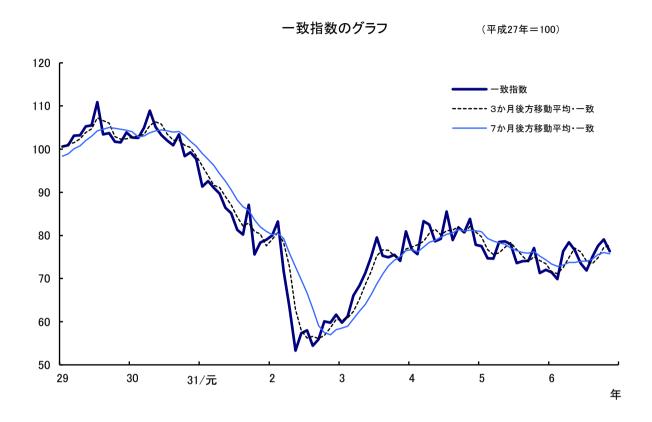
[下落]

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度

[※]寄与度とは、その費目が総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示すものである。

(4) 景気動向(「秋田県景気動向指数(令和6年11月分)」)

先行指数 104.1 前月を1.8ポイント下回り、2か月ぶりに下降した。 一致指数 76.3 前月を2.8ポイント下回り、4か月ぶりに下降した。 遅行指数 95.9 前月を0.9ポイント下回り、2か月ぶりに下降した。



〇一致指数採用系列の前月比較

系 列 名	前月	今月	対前月増減	寄与度
有効求人倍率(倍)	1.24	1.26	0.02	1.10
雇用保険受給者実人員(逆)	▲ 3.0	▲ 4.7	▲ 1.70	0.27
鉱工業生産指数(H27年=100)	94.9	90.9	▲ 4.21%	▲ 1.16
生産財生産指数(H27年=100)	89.2	84.0	▲ 5.83%	▲ 1.34
百貨店・スーパー販売額	▲ 2.5	1.8	4.30	0.95
新車販売台数(台)	2,570	2,427	▲ 5.56%	▲ 0.96
投資財生産指数(H27年=100)	105.7	102.4	▲ 3.12%	▲ 0.40
建築着工床面積(非居住用)(㎡)	9,402	7,643	▲ 18.71%	▲ 0.40
秋田空港利用者数(人)	106,760	103,060	▲ 3.47%	▲ 0.79
CI 一致指数(全体值)	79.1	76.3	▲ 2.8	

		景況ダ	イジェス	ト(令和7	年 1 月)							
対象	資料名 公表機関 対象期間等 公表日				内 容							
	県内金融経済概況 日本銀行秋田支店	[概況]県内景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している。										
	令和7年1月27日公表		・需要面をみると、個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに回復している。公共投資 は、弱含んでいる。住宅投資は、弱めの動きとなっている。設備投資は、高水準で推移している。									
				られるものの、 かに改善してい	緩やかに増加いる。	している。						
	県内経済動向調査結果 産業政策課 令和6年11月分					つつも、緩やか 強含みの動きと		るほか、製造業				
	令和7年1月22日公表		月並みの水準	となっている。			ており、全体	としては前年同				
県		小 売 業: サーt [*] ス 業: 〔全業種〕 D	やや強含みの やや強含みの I 値を前月と	動きとなってい 動きとなってい 比較すると、3か	いる。 いる。	- 。 比較は13.0から	9.4、現在の資	金繰りは▲10.2				
	あきた経済 一般財団法人秋田経済研究所	〔概況〕県内	経済は、全体	として回復の重	動きが足踏みし	ている。						
内	令和6年11月分 令和7年1月号	上回っている	ものの、機械	金属は低迷が終	売いている。建	製材品で大型工 設は、住宅着工 。雇用情勢は弱	が前年を上回っ					
	HOKUTO経済調査レポート 北都銀行	〔県内経済概	況〕緩やかな	持ち直しの動き	きに弱さが窺え	る県内経済						
	令和7年1月号	年を下回りま も出荷停止の	した。一方、 影響などから すが、機械金	個人消費ではノ 未だ前年を下回	小売業主要業態 回っています。	いますが、住宅 販売額の前年割 この間、生産活 続くなど、県内	れが続いており 動では電子部品	リ、自動車販売 品が増加基調で				
	秋田県内の雇用情勢 秋田労働局職業安定部 令和6年12月分			が求人倍率(受 倍、前月と同2		隆値)は1.23倍。	前月比0.03ポ	イント下回る。				
	令和7年1月31日公表	有効求人数(季節調整値)	は前月に比べて	て0.2%増加、有	ī効求職者数(同	司)は2.1%増加	ロした。				
		② 有効求人数	対は18,839人、	前年同月比3.	6%(706人)源	少。同比5か月選 成少。同比25か月 別加。同比5か月	月連続の減少。					
						減少。同比4か月						
	秋田県企業倒産状況 (株)東京商エリサーチ秋田支店 令和6年12月度		以上の企業倒産) 前年同月比 前年同月	倒産件数 ▲	3件 62.50% 8件	負債総額		. 62%				
	令和7年1月7日公表			が相次ぎ、負債	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	月比で大幅な減		721.				
	情報収集結果 秋田県中小企業団体中央会	11月分	ו חל	業界全体 ▲ 32.0	製造業 ▲ 63.6	非製造業 ▲ 7.1	売上高 ▲ 12.0	収益状況 ▲ 30.0				
	令和6年12月分	12月分	l D í	▲ 34.0	▲ 59.1	▲ 14.2	▲ 2.0	▲ 34.0				
	令和7年1月14日公表 秋田県内の公共工事動向	比較		▲ 2.0 %減少、請負金	4.5 全額5 20公試力	▲ 7.1	10.0	位:百万円) ▲ 4.0				
	東日本建設業保証株式会社	<u> </u>	<u>华 14 数22. 2</u> 令和5:		6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			増減率(%)				
	秋田支店	発注者	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額				
	令和6年12月分 令和7年1月16日公表	国 独立行政法人等	3	298 199	5 2	293 1,962	66.7 ▲ 33.3	▲ 1.8 882.9				
	1.18. 1 1/110日 43	県	41	1,873	25	1,735	▲ 39.0	▲ 7.4				
		市町村 地方公社	32 0	2,755 0	30 0	883	▲ 6.3	▲ 67.9				
		ゼガ公社 その他※	2	23	1	5	▲ 50.0	▲ 75.0				
		合計	81	5,150	63	4,881	▲ 22.2	▲ 5.2				
		※「その他」発 指定公共工		江行政法人等、地	也方公共団体、地	方公社を除く国土	交通大臣が指定	ける				

	用 大权 支持数 扣 先	-= n	ı					
	県内経済情勢報告	項 目 内容						
	財務省東北財務局	総括判断 持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている						
	秋田財務事務所	個人消費 一進一退の状況にある						
	令和7年1月分	生産活動 持ち直しに向けた動きに一服感がみられる						
	令和7年1月31日公表	雇用情勢 横ばいの状況にある						
県		設備投資 6年度は増加見込み						
210		企業収益 6年度は増益見込み						
		企業の景況感「上昇」超幅が拡大						
内		住宅建設 前年を下回っている						
		公共事業 前年度を上回っている						
	秋田県内全国企業短期経済観測調査結果	「業況半	斯DI]	6年 6年 7年				
	日本銀行秋田支店		パー・] パイント	9月	12月	変化幅	3月(予測)	変化幅
	令和6年12月調査			0	5	5		▲ 8
	令和6年12月13日公表		製 造 業	▲ 12	4	8	▲ 8	▲ 4
			非製造業	6	9	3	0	▲ 9
	管内の経済動向							
	東北経済産業局	全体の動向:緩やかに持ち直している						
		et-#45						
	令和6年11月分	鉱工業生産:持ち直しの動きがみられる						
	令和7年1月24日公表	個人消費:改善の動きに足踏みがみられる						
		住宅着工:4か月連続で前年同月を下回った						
		公共投資:2か月ぶりに前年同月を下回った						
		設備投資:前年度を上回る見込み 雇 用:有効求人倍率は前月と比べ上昇						
東		雇用: 有	す効求人倍率は	は前月と比べ上	.昇			
		企業倒産: 6	剛産件数は前年	同月を上回っ	た			
	管内経済情勢報告	項目			-	内容		
	財務省東北財務局	総括判断	性+ 古してし	\ Z	'	7.0		
北								
16	令和7年1月分	個人消費 回復に向けたテンポが緩やかになっている						
	令和7年1月31日公表	生産活動 持ち直しつつある						
		雇用情勢 緩やかに持ち直している						
		設備投資 6年度は増加見込み						
		企業収益 6年度は増益見込み						
		企業の景況感「下降」超幅が縮小						
		住宅建設 前年を下回っている						
		公共事業 前年度並みとなっている						
	月例経済報告	•						
	内閣府	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。						
	令和7年1月	個人消費:一部に足踏みが残るものの、持ち直しの動きがみられる						
	令和7年1月23日公表	設備投資:持ち直しの動きがみられる						
		住宅建設:おおむね横ばいとなっている						
		公共投資:底堅く推移している						
		輸出:おおむね横ばいとなっている						
		輸 入:このところ持ち直しの動きがみられる						
		貿易・サービス収支:赤字となっている						
		生産:横ばいとなっている						
		企業収益:総じてみれば改善しているが、そのテンポは緩やかになっている						
全		業況判断: 改善している						
1 -								
		倒産件数:おおむね横ばいとなっている						
		雇用情勢:改善の動きがみられる						
玉		国内企業物価:緩やかに上昇している						
		消費者物価:上昇している						
		先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回						
		復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産						
		市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクと						
1		なっている。また、物価上昇、アメリカの今後の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本						
1		市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。						
			断DI]	〈大企		/ th .th	企業 〉	全規模合計
		25141501					企業〉	
	日本銀行調査統計局		5ポイント	製造業	非製造業	製造業	非製造業	全産業
	令和6年12月調査分	6年	/ 9月	13	34	0	14	14
	令和6年12月13日公表	6年	/ 12月	14	33	1	16	15
			化幅	1	▲ 1	1	2	1
		义	- 1144	· '1		·		